

緑っ子「夢」通信

令和4年 5月26日 校長：坂内 浩一

「教育目標」

自らの夢に向かって
ともにがんばる緑っ子
・かしこく ・やさしく ・たくましく



育み、鍛える R4 学校経営ビジョン

第1回学校運営協議会において、委員の方々に今年度の学校経営ビジョンについて説明させていただきました。経営ビジョンの根底にあるのは、新しい環境の中でも、子どもたちが生き生きと自分を表現し、成長して欲しいという願いです。そのために、学力や体力（資質・能力）を身につけること、自信や自尊感情をもつこと、豊かな体験活動を通して心を豊かにし、経験値を高めること、コミュニケーション能力を身につけること等、7つのキーワードを意識し、様々な教育活動に取り組んでいきたいと思えます。



コミュニケーション能力の育成に関しては、今年度、美山小や瀬川小との交流学习を多く計画しています。美山小に集まり一緒に授業をしたり、社会科の見学学習や陸上の練習、マラソン記録会を合同で行ったりと。

他校との交流学习を通して、来年度から一緒に学ぶ子どもたちとの親睦を深め、不安を少しでも解消し、希望をもって新しい環境へ飛び込んでいくことができるようにしていきたいと思えます。

さて、話は変わりますが、徳川家康が幼少時に今川義元の人質になったことはよく知られている話です。そのときに、今川氏は家臣にこう言ったそうです。「この子どもに『むごい教育』をしてやれ。」と。家臣が、「むごい教育とは、どういうことをするのですか。」と問うと、今川氏いわく。「朝から晩までうまいものを欲しがらだけ食べさせ、冬は暖かくし、夏は涼しくしてやり、何不自由なくしてあげることだ。そうすれば、大抵の者はだめになる。」と。

さすがに、天下をとった家康。今川氏の考えたようなだめな人間にはならなかったわけですが、大いに考えさせられる話です。

今の時代、ほとんどの物は口に入る飽食の時代です。また、ほしがれば、昔よりは簡単に手に入る時代でもあります。物質的にも経済的に恵まれ、不自由さや不便さを味わわなくてすむ中で育ち、子どもたちは、逆に「むごい教育」を受けているのかもしれない。だからこそ、あえて我慢をすることや、知恵を働かせて目の前の課題を自力で解決する経験をたっぷりさせたいと考えています。「転ばぬ先のつえ」を与えずることなく、生き抜く力をしっかり身に付けさせてあげたいものです。

新しいことに自分からチャレンジすることで得られること

今年度も新しいことに挑戦し、自分を磨き、高めることを大切にしていきます。

だれでも、自分が慣れていること、既にできることへの不安は少ないものです。でも、経験がないこと、新しいこと、苦手なことは敬遠しがちです。でも、そういったことの中こそ、失敗も含めて自分を成長させる要素がたくさん含まれています。今年度も適度な負荷や緊張を日々の教育活動の中に取り入れていきたいと思えます。

- ◇英語で話すことにチャレンジ
- ◇雑間にチャレンジ（週末課題）
- ◇多様な動きにチャレンジ
- ◇目標を立て自分の健康管理にチャレンジ



緑っ子の 5月

運動会

子どもたちは緑小最後の運動会に向けて、様々な準備や練習に取り組んできました。

自分たちでスローガンを考え、思い出に残る運動会にしたいと、一生懸命頑張ってきました。

また、今年度は、特別種目（全校表現）をプログラムに追加しました。今年度の運動会は、子どもたちのがんばりや学校や地域への感謝の気持ち、未来への希望などがたくさん詰まった素晴らしい運動会となりました。

応援合戦



鼓笛



卒業生や保護者の特別種目



全校表現で感謝と希望



よさこい



栽培活動～さつまいもの苗植え、田植え～



子どもたちは、苗の植え方やまくらの役割、水を蒸発させないための工夫、田植えの仕方や苦勞、田んぼの匂いや土の感触等、体験を通してたくさんのことを学んでいます。このような体験を他の体験と結びながら、子どもたちの経験値を高めていきたいと思えます。

緑の指導員、学校支援ボランティアの方々と地域の教育力に感謝します。

豊かな体験活動～豊かな心と経験値～



児童会総会 ～自分たちの学校生活を自分たちで考える～

活動説明・話し合い



緑っ子の一員として自分の意見をしっかりと伝えます。また、新たな課題についてもその場で友達と話し合い、解決策を考えます。考え方の違いに気づくことも大切な学びとなります。

全校集会～転校生の紹介～

新しい出会いに感謝



新しいお友達が増えました。
3学年へ
安田 梨那さん
(やすだ りな)
よろしくお願いします。

ご協力に感謝します。



図書の贈呈、PTA 奉仕作業、絆の桜消毒作業